

千曲市復旧計画

(令和元年東日本台風災害)

令和2年3月

千曲市

千曲市復旧計画（令和元年東日本台風災害）

〈目次〉

1. はじめに

（1）復旧計画の趣旨	2
------------	---

2. 台風被害の概要

（1）台風通過時の概要	3
-------------	---

（2）被害の概要	9
----------	---

3. 支援の状況

（1）人的支援の状況	12
------------	----

（2）物資等による支援の状況	13
----------------	----

4. 復旧状況と当面の方針

（1）災害廃棄物の状況	15
-------------	----

（2）ハード事業	18
----------	----

（3）ソフト事業	26
----------	----

5. 今後の復興に向けて

（1）復興計画の策定について	37
----------------	----

1. はじめに

(1) 復旧計画の趣旨

令和元年10月12日に長野県へ最接近した「令和元年東日本台風※」は、当市にこれまでにない甚大な被害をもたらしました。

改めまして、被災された多くの皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

災害から5か月が経過し、市民生活も落ち着きを取り戻しつつありますが、復旧・復興は道半ばであり、今後も迅速な復旧と着実な復興への施策が必要です。

そのため市では、まず最初に市民生活の安定とインフラや被災施設の原状回復を重視した「復旧計画」を策定しました。次いで中長期的な視点から安心なまちづくりを目指す「復興計画」を策定しますが、大規模浸水の原因など、現在調査中のものについては、その中で報告いたします。

本復旧計画は、災害の被害やその復旧状況についての現段階での報告書を兼ねております。市民の皆様には被災の状況や復旧の現状を知っていただき、市民と行政が一丸となって復旧・復興に向けて共に行動していくきっかけとなることを願っております。

当市は、令和2年を災害からの復興元年とし、速やかな復旧と更なる復興を目指し、引き続き全力で取り組んでまいります。また、復旧の進捗状況については、市ホームページに公開することで、今後も市民の皆様へ報告してまいります。

結びに、被災直後から駆けつけていただきましたボランティアの皆様、数多くの救援物資や義援金等をお寄せいただいた皆様、また、国や他の自治体をはじめとする多くの方々からいただいた温かいご支援に心から深く感謝申し上げます。

※令和元年台風第19号は、令和2年2月19日に気象庁より、名称を「令和元年東日本台風」と定められました。そのため出典資料の表記は台風19号のままとなっています。

2. 台風被害の概要

(1) 台風通過時の概要

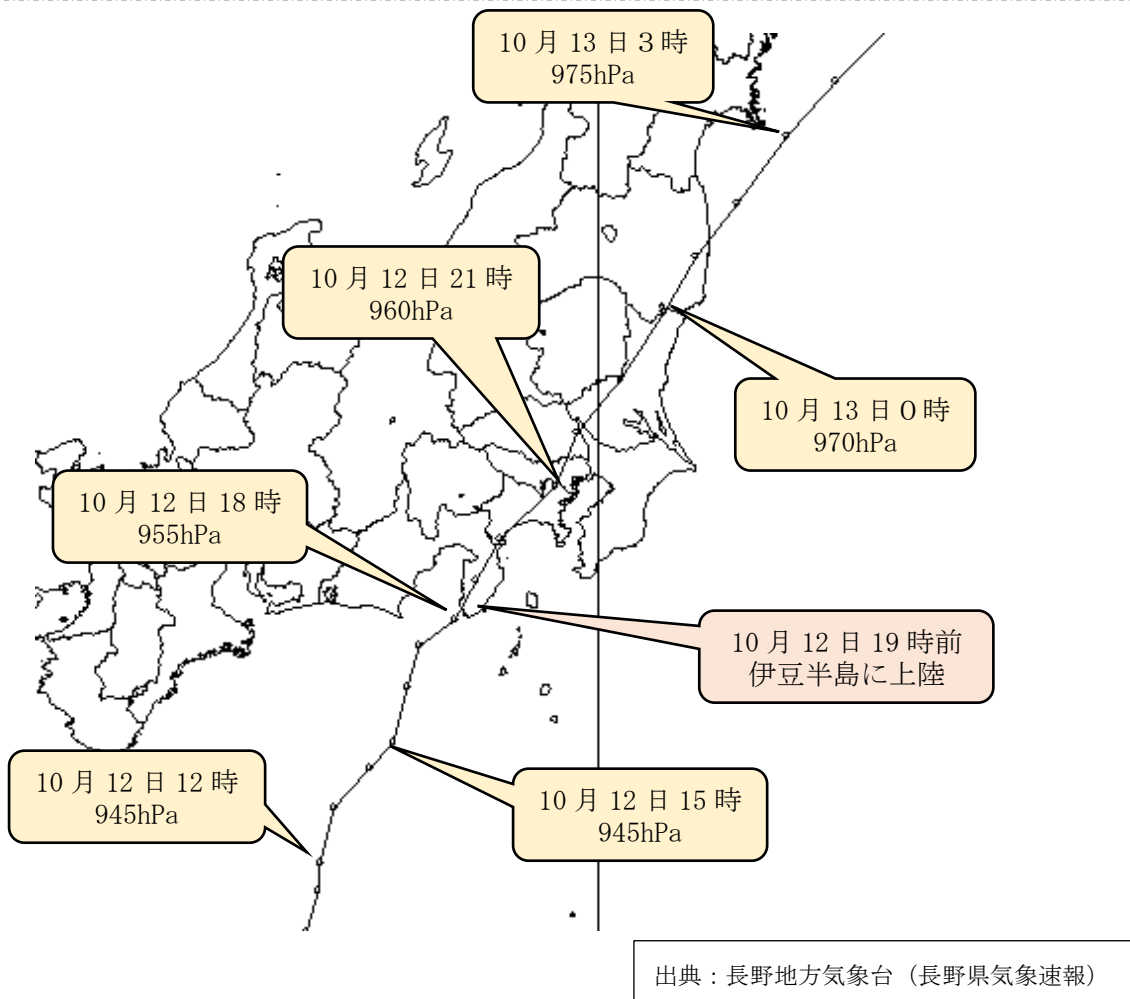
① 気象の状況

10月6日に南鳥島近海で発生した台風第19号は、マリアナ諸島を西に進みながら、7日には大型で猛烈な台風となりました。

その後、小笠原近海を北北西に進み、12日には北よりに進路を変え、東海道沖を北北東に進みました。

12日19時前に、大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した後、関東地方を通過し、13日未明に東北地方の東の海上に抜けました。

図1 台風19号経路図（日時、中心気圧（hPa））速報解析 拡大

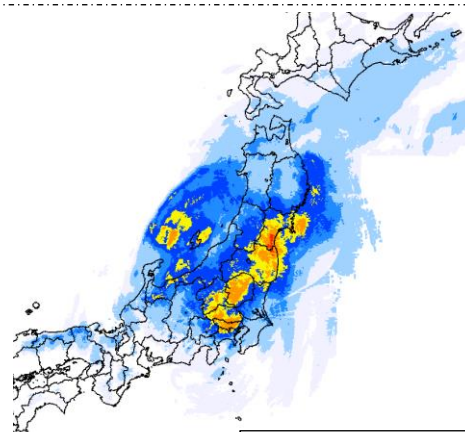
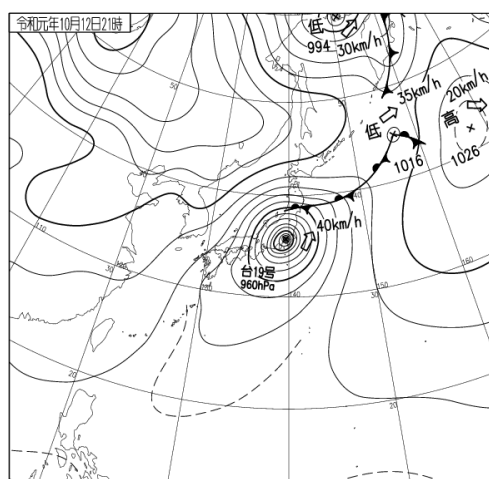


②大雨等の状況

長野県では北部と中部を中心に大雨となり、県内 14 の観測地点で日降水量の統計開始以来の最大値を更新しました。

この大雨により長野県内では初の『大雨特別警報』が発令されました。

図2 天気図（左）・1時間降水量（解析雨量）（右）（10月12日21時時点）



出典：気象庁（気象事例）

表1 気象観測所による期間降水量（10月12日～10月13日）

観測所名	10月12日	10月13日	期間合計	データ出典
千曲	195.0 mm	0.0 mm	195.0 mm	戸倉上山田消防署
長野	132.0 mm	4.0 mm	136.0 mm	長野地方気象台(長野県気象速報)
菅平	270.0 mm	11.0 mm	281.0 mm	〃
聖高原	242.0 mm	0.5 mm	242.5 mm	〃
上田	143.0 mm	0.5 mm	143.5 mm	〃
東御	148.5 mm	4.5 mm	153.0 mm	〃
佐久	303.5 mm	0.0 mm	303.5 mm	〃
北相木	395.5 mm	停電により未入電	—	〃
軽井沢	314.5 mm	0.5 mm	315.0 mm	〃
松本	134.0 mm	0.0 mm	134.0 mm	〃
諏訪	72.0 mm	0.0 mm	72.0 mm	〃
飯田	48.5 mm	0.0 mm	48.5 mm	〃
北牧	186 mm	0 mm	186 mm	国土交通省(水文水質データベース)

図3 千曲川（杭瀬下水位観測所）の年最高水位比較図

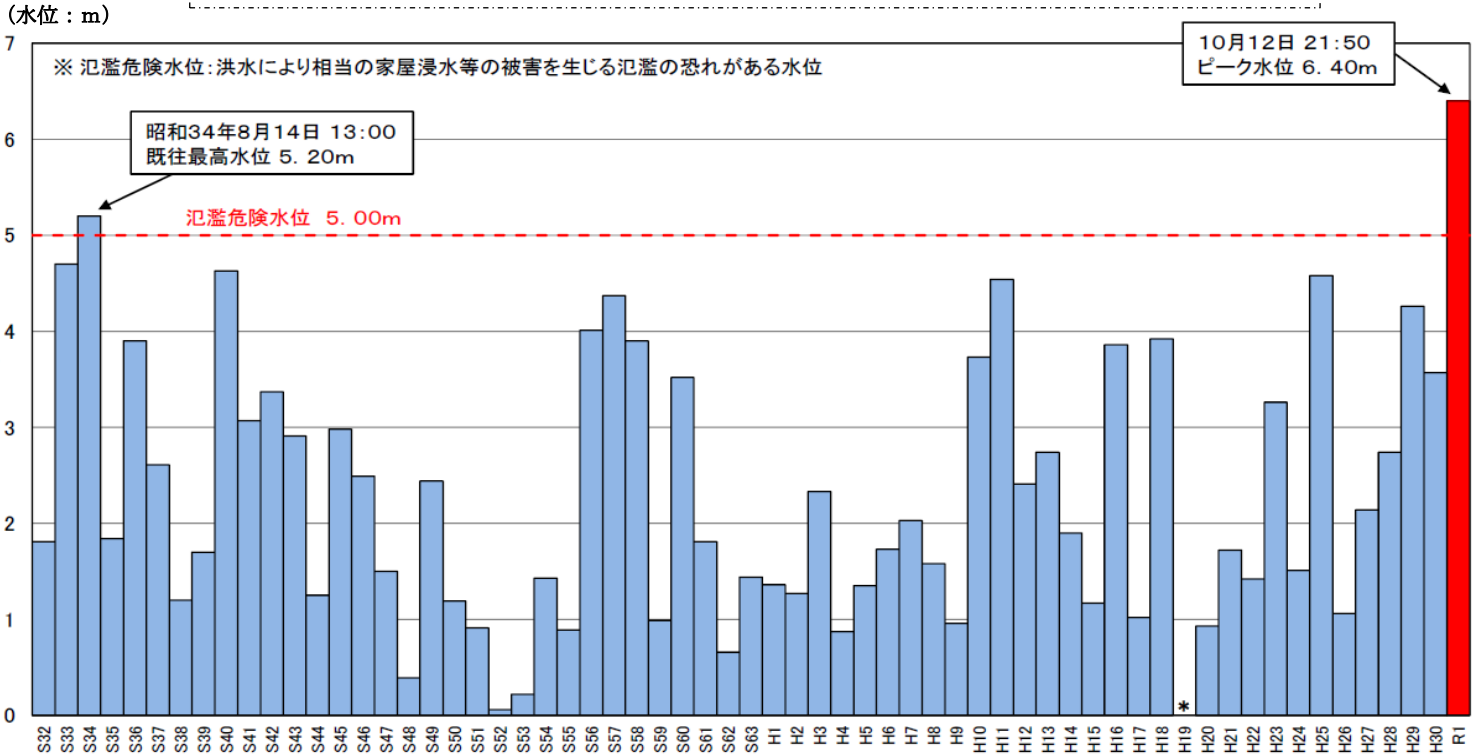
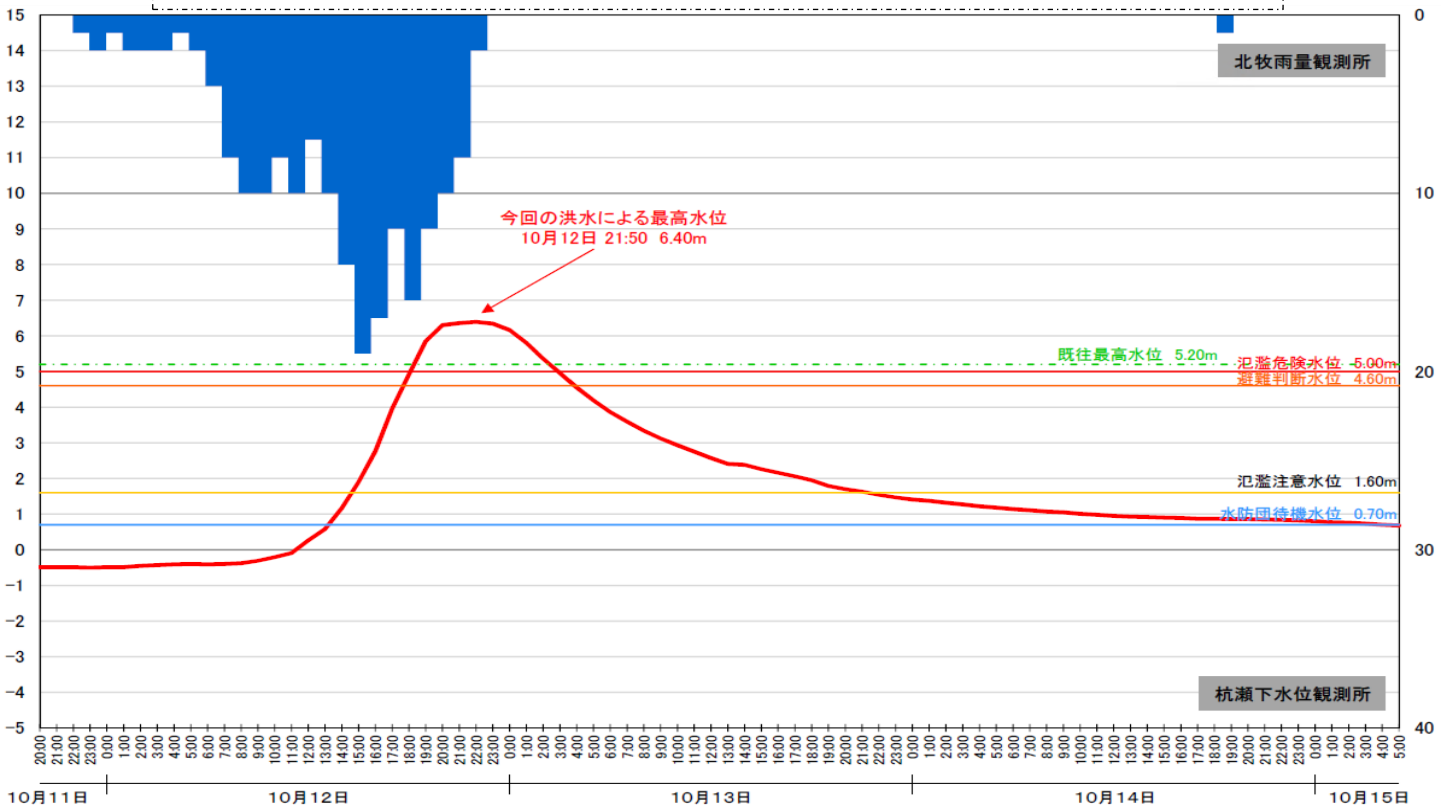


図4 千曲川（杭瀬下水位観測所）の水位と北牧観測所（小海町）の降雨量



出典：国土交通省北陸地方整備局（令和元年10月台風第19号における出水の概要）

③警報等・避難情報の発表（発令）状況

注意報、警報等の発表の状況、本市の避難情報の発令状況は表のとおりです。

表2 長野地方気象台等が発表した情報

発表日時/項目	注意報				警報			特別警報	
	大雨	洪水	強風	雷	大雨	洪水	暴風	大雨	
10月11日20時05分			●						
10月12日4時28分			↓	●					
10月12日7時40分	●	●		●			●		
10月12日8時17分	↓	↓		●			●		
10月12日9時03分	↓	↓		●			●		
10月12日10時56分				●	浸	土	●		
10月12日12時18分				●	↓	↓	●		
10月12日14時39分				●	↓	↓	●		
10月12日15時30分				●			●	浸	
10月12日18時10分				●			●	↓	
10月12日19時16分				●			●	↓	土
10月12日19時52分				●			●	↓	↓
10月12日20時45分				●			●	↓	↓
10月12日23時11分			↓	●			●	↓	↓
10月13日0時57分			↓	●			●	解除	解除
10月13日3時20分			解除	●	↓		●		解除
10月13日4時27分			解除	●			●		
10月13日6時12分				●	↓		●		
10月13日8時29分	●				解除		●		
10月13日11時06分	↓						●		
10月13日12時31分	↓						●		

注) 浸：浸水害/土：土砂災害

●：発令

出典：長野地方気象台等（長野県気象速報）

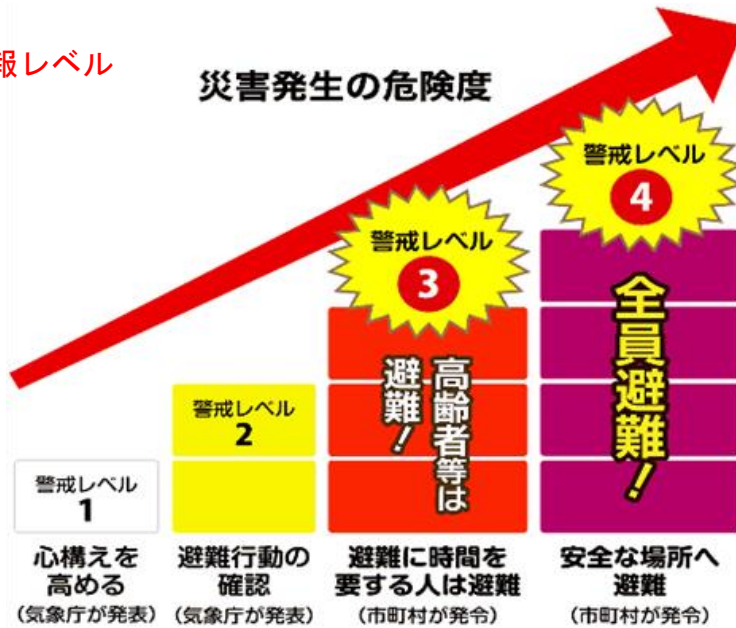


▲撮影：千曲坂城消防本部（10月13日の千曲川：千曲橋～栗佐橋間）

表3 千曲市災害対策本部 災害対応経過報告

日	時間	種別	内容	千曲川水位	備考
10月11日	9:00		災害警戒本部設置		
10月12日	7:40		暴風警報、大雨、洪水注意報		
	10:56		洪水警報、土砂災害警戒情報		
	11:23	市職員メール	部長招集、職員準1号配備（約40名招集）	0.36m	職員指示
	12:30	市職員メール	災害対策本部設置 第1回災害対策本部会議		職員指示
	13:53	市職員メール	職員1号配備（約120名招集）	0.56m	職員指示
	15:00			1.90m	
	15:40	エリアメール	警戒レベル3 全市避難準備情報 避難所開設6か所		屋外告知
	15:52	エリアメール	警戒レベル4 八幡前川原団地避難勧告		屋外告知
	16:00			2.76m	
	17:00			3.96m	
	17:19	市職員メール	職員2号配備（約200名招集）		職員指示
	17:57	エリアメール	警戒レベル4 全市避難指示 避難所開設15か所		屋外告知
	18:00			4.92m	
	18:10	エリアメール	警戒レベル5 大雨特別警報 （气象台）		
	18:45	エリアメール	警戒レベル4 千曲川氾濫の恐れ （国交省）		
	19:00			5.85m	
	20:00			6.30m	
	20:13	市メール	尾米川冠水 直ちに避難 （再指示）		屋外告知
	21:00			6.36m	
	21:16	エリアメール	避難所追加 旧保健センター		屋外告知
	21:33	市メール	土口水門付近千曲川増水 直ちに避難 （再指示）		屋外告知
	22:00			6.39m	
	22:24	エリアメール	警戒レベル5 土口、生萱、雨宮 千曲川堤防溢水 （情報提供）		屋外告知
	22:43	エリアメール	避難所追加 屋代高校		屋外告知
	23:00			6.34m	
	23:26	市メール	不要な外出控えて（雨が止んだことで河川等を見に行かないよう注意喚起）		屋外告知
	10月13日	0:00			6.16m
1:00				5.80m	
2:00				5.36m	
4:00				4.55m	
6:00				3.86m	
7:42		市メール	避難指示、勧告解除		屋外告知

※警戒レベル



【警戒レベル5】(市町村が発令)は既に災害が発生している状況です。

出典：政府広報オンライン
(暮らしに役立つ情報)

④避難所の設置状況

表4 開設した避難所と避難者数 (避難者数は各避難所の最大数)

避難所名	避難者数	避難所名	避難者数
屋代小学校	213 人	更級コミュニティーセンター	32 人
東小学校	164 人	千曲市総合観光会館	50 人
埴生小学校	254 人	旧戸倉庁舎	295 人
治田小学校	246 人	ことぶきアリーナ千曲	661 人
八幡小学校	211 人	更埴文化会館	156 人
戸倉小学校	96 人	旧更埴庁舎保健センター	133 人
五加小学校	256 人	旧更埴庁舎議場※1	150 人
更級小学校	185 人	屋代高等学校	110 人
上山田小学校	262 人	健康プラザ	16 人
屋代中学校	777 人	信毎販売センター※2	15 人
埴生中学校	347 人	(以上、指定避難所)	25 ヲ所
更埴西中学校	231 人	北堀公民館	32 人
戸倉上山田中学校	180 人	稻荷山公民館	7 人
桑原研修センター	14 人	あんずの里観光会館	11 人
八幡公民館	63 人	丸善食品	6 人
		(以上、自主避難所)	4 ヲ所
		合計	29 ヲ所
			5,173 人

※1：旧更埴庁舎議場は更埴文化会館からの移動

※2：「災害時等における妊産婦及び乳幼児とその母親の緊急受け入れに関する協定」により設置

(2) 被害の概要

(別途記載がない場合、申請等の数は令和2年3月1日現在の状況です)

①人的被害

死亡	行方不明	重傷	軽傷	合計
0人	0人	0人	5人	5人

②住家被害（調査継続中）

a) 全壊

床上まで浸水	床下まで浸水	その他	合計
-	-	1世帯(風害)	1世帯

b) 半壊

床上まで浸水	床下まで浸水	その他	合計
344世帯	-	-	344世帯

c) 一部損壊

床上まで浸水	床下まで浸水	その他	合計
71世帯	426世帯	54世帯	551世帯

d) 全壊・半壊・一部損壊 以外

床上まで浸水	床下まで浸水	住家被害合計
10世帯	771世帯	1,677世帯

e) 住家の浸水被害（全壊・半壊・一部損壊含む）

種類	世帯数	浸水地区
床上浸水	425世帯	大字栗佐、雨宮、生萱、鋳物師屋、杭瀬下、桜堂、新田、中、八幡、若宮、羽尾、須坂、戸倉温泉、力石、上山田、杭瀬下1・3・4・5・6丁目、上山田温泉1丁目
床下浸水	1,197世帯	大字栗佐、土口、生萱、雨宮、鋳物師屋、桜堂、杭瀬下、新田、中、八幡、戸倉温泉、若宮、力石、上山田、杭瀬下1・2・3・4・5丁目、上山田温泉1丁目

③被災した児童・生徒数

種類	小学校	中学校
床上浸水	38 人	34 人
床下浸水	37 人	67 人
合計	75 人	101 人

④被災した園児数

種類	園児数
床上浸水	40 人
床下浸水	69 人
合計	109 人

⑤被災した事業者数

(2月18日現在)

事業者数	192 事業所
------	---------

※罹災届出証明、現地調査、商工団体等からの情報提供による。

⑥農業被害

a) 生産物被害

作物名	被害状況	備考
穀類・豆類	被害率 30%以上 2.4ha 被害金額 412,000 円	須坂 (大豆)、中 (大豆)、 生萱 (そば、大豆)
果樹	被害率 30%未満 28.4ha 被害金額 11,369,000 円	上山田 (りんご)、 新山 (りんご)
野菜	被害率 30%未満 0.7ha 被害率 30%以上 0.8ha 被害金額 4,391,000 円	雨宮 (長いも、ごぼう) 八幡 (いちご)
花卉	被害率 30%以上 0.3ha 被害金額 4,391,000 円	力石 (トルコギキョウ)
樹体被害 (果樹)	被害率 30%以上 1.1ha 被害金額 927,000 円	屋代 (もも)、若宮 (あんず)

b) 農機具被害

物件名	被害状況	備考
農業用機械	被害 457 件 被害金額 195,518,000 円	トラクター、管理機等

⑦公共下水道・上水道・都市ガス・電話への影響

施設名	台風 19 号による影響等	備考
公共下水道	<ul style="list-style-type: none"> ・10月13日9:00 市ホームページに「台風による豪雨により、下水道処理場（アクアバル千曲）への流入が増加しており、処理が間に合っていないことから、下水道の使用を最小限にさせていただきたいこと」を掲載。 ・10月15日11:53 市ホームページに「下水道処理場への流入水位が正常状態に戻ったことと、公共ますと点検ますの確認について」を掲載。 	長野県からの要請
市営水道	市内での断水なし	
県営水道	市内での断水なし	長野県環境部発表
都市ガス	市内での供給停止なし	長野都市ガスに確認
電話	県内の交換所で NTT サービスに大規模な影響なし	NTT 東日本長野支店発表

⑧停電情報（中部電力篠ノ井営業所担当地域）

発生日時	復旧日時	復旧地域	復旧戸数	停電理由
10/12 18:37	10/13 23:50	千曲市大字桑原の一部 長野市大岡乙、大岡甲、大岡中牧、大岡弘崎、大岡丙、信更町田沢、信州新町上条、信州新町下市場、信州新町新町、信州新町竹房、信州新町中牧、信州新町弘崎、信州新町牧田中、信州新町牧野島、信州新町水内の一部	1,400 戸	台風の影響
10/12 20:43	10/14 15:56	千曲市大字上山田、大字力石の一部 埴科郡坂城町大字網掛、大字上平、大字上五明、大字坂城の一部	880 戸	台風の影響
10/12 21:01	10/13 17:42	千曲市大字雨宮、大字土口、大字屋代の一部 長野市篠ノ井会、篠ノ井御幣川、篠ノ井小森、篠ノ井東福寺、篠ノ井横田、松代町岩野、松代町清野の一部	780 戸	台風の影響
10/12 22:53	10/13 10:53	千曲市大字新山、大字上山田、大字力石の一部 埴科郡坂城町大字上五明、大字坂城の一部	600 戸	台風の影響
10/12 23:59	10/13 19:23	千曲市大字森の一部	10 戸未満	台風の影響
10/13 1:22	10/13 3:16	千曲市大字栗佐、大字稲荷山、大字鋳物師屋、大字打沢、大字小島、大字杭瀬下、大字桜堂、大字新田、大字野高場、大字森、大字屋代、杭瀬下の一部	1,610 戸	台風の影響 (屋代変電所の浸水)
10/14 8:02	10/14 16:43	千曲市大字桑原の一部 上水内郡小川村大字高府、長野市大岡甲、大岡中牧、大岡弘崎、大岡丙、篠ノ井有旅、篠ノ井山布施、信更町桜井、信更町田沢、信更町古藤、信更町宮平、信更町安庭、信更町涌池、信州新町上条、信州新町越道、信州新町里穂刈、信州新町下市場、信州新町新町、信州新町竹房、信州新町中牧、信州新町弘崎、信州新町牧田中、信州新町牧野島、信州新町水内、信州新町山上条、信州新町山穂刈、中条の一部	1,680 戸	台風の影響

出典：中部電力（発表資料（10月18日17時44分現在））

3. 支援の状況

この度の災害に際しては、全国からたくさんのご支援をいただきました。
皆様に改めまして厚く御礼申し上げますとともに、その内容を紹介させていただきます。

(別途記載がない場合、令和2年3月1日現在の状況です)

(1) 人的支援の状況

①ボランティアによる支援

10月14日の千曲市災害対策本部会議において、災害ボランティアセンターの設置を決定し、翌10月15日午前9時より、旧更埴庁舎保健センター1階にて運営を開始しました。

ボランティアセンターは、12月24日をもって登録ボランティアの皆さんによる活動は終了となりましたが、それ以降も社会福祉協議会が受付・相談の窓口となり、ボランティアによる支援は続いています。

ボランティア延べ人数	1,244人
支援の延べ件数	570件

②他自治体等からの人的支援

a) 完了した支援

期間	団体数	延べ人数	備考
令和元年 10/16～10/25	1団体	31人	罹災証明の受付
10/16～10/20	1団体	20人	長野県市長会
10/18～10/28	2団体	36人	市町村相互応援協定
10/18～10/24	5団体	70人	総務省被災市区町村応援職員 確保システム
10/18～10/23	3団体	42人	長野県災害応援協定
10/21～11/ 1	1団体	22人	姉妹都市
10/23～10/31	1団体	18人	姉妹都市 災害時の相互応援協定
10/24～10/31	5団体	70人	総務省被災市区町村応援職員 確保システム

b) 継続中の支援

期間	団体数	派遣人数	備考
令和元年 12/16～	1団体	1人	総務省と全国市長会・全国町村会 による派遣スキーム
令和2年 1/ 6～	2団体	2人	総務省と全国市長会・全国町村会 による派遣スキーム

(2) 物資等による支援の状況

①義援金

後述 (28 ページ) のとおりです。

②支援金 (ふるさと納税)

寄附の方法	件数	金額
ふるさとチョイス	845 件	16,131,948 円
楽天	5,267 件	28,399,000 円
自治体窓口	81 件	19,341,290 円
宇和島市代理寄附※	782 件	15,421,509 円
合計	6,975 件	79,293,747 円

※令和元年 10 月 25 日、宇和島市から協力の申し出をいただきました。

③支援物資

個人	120 組 (延数)
団体	19 団体
会社等	60 社
自治体	5 自治体

(12 月 3 日以降受付は終了しています)

【支援いただいた物資】

- 飲料水・食品類
- タオル・毛布類
- ティッシュ・トイレットペーパー類
- 生理用品・オムツ
- 石鹸・シャンプー・洗剤類
- 歯ブラシ・マスク等衛生用品類
- その他雑貨類など



▲旧市庁舎 支援物資受入会場



▲旧市庁舎 保管倉庫内の様子

④支援メッセージ

全国からあたたかい支援メッセージをいただきました。
(一部を紹介します)



▲宇和島市の小学校からいただいた寄せ書き



▲みかんやリース (宇和島市)・お地蔵様の人形 (松田町)・千羽鶴 (知多市) をいただきました。

4. 復旧状況と当面の方針

(1) 災害廃棄物の状況

市では、10月14日から、災害廃棄物を緊急的に収集、保管するための仮置場を設置するとともに、浸水により車が使えなくなった方や高齢者など、自分で搬出ができない方の災害廃棄物を応急的に、市職員が個別に収集・運搬しました。

仮置場への搬入にあたっては、多くのボランティアの皆様や伊那市、駒ヶ根市、宮田村、さらには全国清掃事業連合会の応援、協力をいただきました。また、仮置場に集められた災害廃棄物の搬出は、環境省及び県の調整により、三重県、愛知県の民間業者の支援を受けられたことから、収集した災害廃棄物の処理はすべて完了しました。

現在は、全壊、半壊を対象に、市が費用を負担し、所有者にかわって被災住宅を解体・撤去する「公費解体」の受け付けております。

今後は、解体に伴う災害廃棄物の処理を進めてまいります。(実施状況の詳細は27ページを参照)



▲名月荘跡地の仮置場に集積された災害廃棄物

①災害廃棄物の収集量

a) 仮置場処理量

ごみの種類	収集量
可燃物（稲わら、木くず含む）	181.86 トン
不燃物	721.45 トン
混合廃棄物	795.55 トン
金属くず	29.24 トン
廃タイヤ	19.07 トン
畳	5.95 トン
廃家電	40.09 トン
合計	1,793.21 トン

（3月1日現在）
（処分場計量による）

b) 葛尾組合への直接搬入量

ごみの種類	収集量
可燃物	165.24 トン
不燃物	7.57 トン
合計	172.81 トン

（3月1日現在）
（葛尾組合計量による）

②災害廃棄物処理事業における対応経過

月日	内容
10.12	・災害救助法適用
10.13	・災害本部会議で被災地に身近な仮置場を設置するよう決定。区・自治会との連携により市内19か所に身近な仮置場の設置準備開始 ・仮置場を市内2か所（名月荘跡地、森窪山展望公園）に設置準備
10.14	・仮置場、身近な仮置場による災害廃棄物の受入開始 ・千曲資源リサイクル事業（協）との災害廃棄物収集運搬契約打合せ
10.15	・千曲資源リサイクル事業（協）外家庭ごみ収集運搬業者4社との打合せ会議開催、収集運搬契約締結及び身近な仮置場の収集運搬開始
10.16	・被災家庭へのごみ袋配布開始（可燃30枚、不燃30枚）
10.17~23	・長野県市町村相互応援協定による派遣職員（伊那市、駒ケ根市、宮田村から延べ人数42名）による作業実施

10. 20	<ul style="list-style-type: none"> ・葛尾組合焼却施設（坂城町）焼却炉の故障により災害ごみの受入中止 ・市ボランティアセンターによる災害ごみの収集運搬支援開始 ・中部地方広域連携による災害に伴う廃棄物等の処理等に係る支援要請発令
10. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・被災家庭から仮置場への災害廃棄物の受入中止をHPに掲載
10. 23	<ul style="list-style-type: none"> ・仮置場を戸倉体育館A・Bグラウンドまで拡大
10. 27~11. 5	<ul style="list-style-type: none"> ・（一社）全国清掃事業連合会による身近な仮置場の収集運搬実施
10. 30	<ul style="list-style-type: none"> ・三重中央開発（株）、（一社）愛知県産業廃棄物協会現地入り、打合せ
11. 1	<ul style="list-style-type: none"> ・市内家庭ごみ収集運搬業者4社による身近な仮置場から仮置場までへの収集運搬終了
11. 5	<ul style="list-style-type: none"> ・三重中央開発（株）、（一社）愛知県産業廃棄物協会との契約締結
11. 8	<ul style="list-style-type: none"> ・三重中央開発（株）による名月荘跡地の管理運営、災害廃棄物収集運搬、処分開始
11. 11	<ul style="list-style-type: none"> ・（一社）愛知県産業廃棄物協会による名月荘跡地の管理運営、災害廃棄物収集運搬、処分開始
11. 18	<ul style="list-style-type: none"> ・三重中央開発（株）による災害廃棄物の搬出完了
12. 9	<ul style="list-style-type: none"> ・（一社）愛知県産業廃棄物協会による災害廃棄物の搬出完了
12. 9~10	<ul style="list-style-type: none"> ・（株）しんえこによる特定家電の搬出
12. 24	<ul style="list-style-type: none"> ・罹災証明による全壊・半壊判定者に公費解体の意向調査票発送
1. 6	<ul style="list-style-type: none"> ・自費償還申請受付開始
1. 14	<ul style="list-style-type: none"> ・公費解体申請受付開始
3月～	<ul style="list-style-type: none"> ・戸倉体育館A・Bグラウンドのガレキ混じり土砂の鋤取りを実施予定
4月～	<ul style="list-style-type: none"> ・公費解体による解体ごみの受入を名月荘跡地にて実施予定

(2) ハード事業

市では、被災した道路や河川、公共施設等の応急的な復旧を進めてきました。

しかしながら、インフラ等の復旧に当たっては、スピード感をもって対応することが重要あるとともに、被害の甚大さから多額の費用と時間も必要になります。

そのため、市の財源だけでなく国や県と連携し、国庫補助や起債等の財源も極力確保しながら、一日も早い復旧に向けて事業を進めてまいります。

●公共施設等の復旧（応急対応を含む）

復旧完了
 対応中
 管理が市以外のもの
 (別途記載がない場合、令和2年3月1日現在の状況です。)

※事業費は概算額であり、市管理以外の施設については金額に含まれていません。

①道路等 【事業費：15,719千円】

市道については、危険性の高い道路の復旧を優先して実施してきています。

今後は国等関係機関と連携して、台風時期前までの復旧を目指します。

路線名等	被害状況	備考
市道 6-C-009 号線	千曲川堤外地道路のため洪水による路面洗堀	(力石)L=25m 復旧工事完了
市道 B-05 号線	千曲川堤外地道路のため洪水による路面洗堀	(力石)L=15m 復旧工事完了
市道 5015 号線 市道 5046 号線	千曲川越流による堤防欠損により土砂流出	(雨宮) 土砂撤去作業完了
市道 98 号線	雄沢川からの内水による土砂堆積	(須坂) 土砂撤去作業完了
市道 5129 号線	沢山川内水による路面洗堀	(生萱) 生萱排水機場南側 復旧作業完了
市道 8094 号線	農業用水路溢水による路肩崩落	(大田原) 復旧工事完了
市道 2159 号線 他 5 路線	千曲川洪水による土砂堆積	(新田) 東林坊川沿線農地内 復旧工事完了
市道 5110 号線	法面崩落 (落石、倒木 1 本の恐れあり)	(雨宮) 復旧作業完了
杭瀬下地区他 3 地区道路側溝	浸水による土砂堆積	(杭瀬下ほか) 土砂撤去作業完了

八幡代団地地区道路側溝	千曲川洪水による土砂堆積	(代) 土砂撤去作業完了
市道 3-C-001 号線他 2 路線	千曲川洪水による土砂堆積	(上山田) 土砂撤去作業完了
市道 B-05 号線他 1 路線	千曲川堤外地道路のため洪水による土砂堆積	(力石) 土砂撤去作業完了
市道 3-C-044 号線	千曲川洪水による土砂堆積	(力石) 土砂撤去作業完了
街路樹 他	被害 9 件	処理済
市道防犯灯支柱	倒壊、電線切れ 10 本	(力石) 配線処理済 復旧工事検討中
市道 1-8 号線	千曲川堤防道路 路肩の崩落陥没	(戸倉) 大正橋～冠着橋 復旧工事完了
国道 18 号バイパス	法面崩壊	(八幡峯信号機付近) 国が台風時期前に復旧予定
市道 9315 号線	法面崩落	(姨捨) ブルーシート養生中 土地所有者(個人)が 4 月頃 復旧予定

②河川等 【事業費：7,444 千円】

土砂堆積や土砂崩落など、川の流れや隣接地に支障がある河川を優先して復旧しました。

千曲川や沢山川、雄沢川の復旧については、国・県等と連携し、河川の水位が上昇する出水期前までの復旧を目指します。

被害の大きい箇所については、複数年かけて復旧に努めます。

河川名等	被害状況	備考
荒砥沢川	土砂堆積	(若宮) 土砂撤去作業完了
戸屋沢川	法面土砂崩落	(羽尾) 河川内土砂撤去工事完了
沢山川隣接 旧長野電鉄跡 地	法面崩壊	(雨宮) 土口親水公園付近 復旧工事完了
水路	土砂堆積	(新田) 復旧工事完了
古川	土砂堆積	(栗佐) 土砂撤去作業完了
古川樋門	土砂堆積	(栗佐) 土砂撤去作業完了
小中島樋門	土砂堆積	(中) 土砂撤去作業完了
沈砂池 (市内一円)	土砂堆積 13 ヲ所	土砂撤去作業完了
雄沢川	護岸石積欠損、土砂堆積	(羽尾) 土砂撤去作業完了 県が災害復旧予定
千曲川堤外 地	土砂堆積 (新田用水放流先)	(杭瀬下) 土砂撤去作業完了
沢山川斎場橋付近	法面崩壊	(雨宮) 復旧工事完了
千曲川	法面崩落 (エムケー精工北堤内地側) 4 ヲ所	(雨宮) ブルーシート養生中 R2. 4～5 に堤防道路通行止 にて仮復旧工事予定
沢山川	法面崩落 (中の橋南堤内地側) 7 ヲ所	(雨宮) ブルーシート養生中 県が災害復旧予定

③公共下水道施設 【事業費：9,130 千円】

被災した設備は、応急的な復旧を完了しました。

国の査定が終了し、本復旧工事の契約も済んだことから、下記のとおり完了を目指します。

施設名	被害状況	備考
生萱マンホールポンプ	制御盤浸水	仮制御盤で運転中 R2.5.29 完了予定
伊勢宮排水ポンプ場	放流ゲートラック棒湾曲	R2.7.20 完了予定

④林道 【事業費：3,627 千円】

被災箇所はすべて完了しました。

(12月1日から4月中旬頃まで冬期間閉鎖しています)

路線名	被害状況	備考
林道更埴坂城線	倒木3本、落石1カ所、 土砂流出1カ所、電柱傾倒1本 法面崩落1カ所	(森) 倒木処理済、落石撤去済、 土砂撤去済、電柱除去済 台風20号による被害 復旧完了
林道芝平樽滝線	倒木5本、土砂流出1カ所 暗渠閉塞3カ所、 土砂崩落2カ所、 林道法面崩落3カ所 暗渠閉塞1カ所	(森、倉科) 倒木処理済、流出土砂撤去済、 暗渠開通済、崩落土砂撤去済、 法面崩落復旧完了 台風20号による被害 暗渠開通済
林道北山線	倒木1本	(戸倉) 倒木処理済
林道葎生線	暗渠閉塞1カ所	(森) 復旧完了
林道宮坂線	倒木1カ所	(森) 倒木処理済
林道大洞線	倒木1カ所	(森) 倒木処理済
林道冠着山線	倒木1本 土砂崩落1カ所	(羽尾) 倒木処理済 崩落土砂撤去済
林道古家線	土砂崩落1カ所	(桑原) 崩落土砂撤去済
林道久露滝線	土砂崩落1カ所	(羽尾) 崩落土砂撤去済
林道不動滝線	土砂崩落1カ所	(桑原) 土砂撤去済
林道佐野山線	土砂崩落・倒木1カ所	(桑原) 倒木処理済、 崩落土砂撤去済
林道山の神線	倒木1本、路面洗掘150m	(八幡) 倒木処理済 路面補修完了
林道中原入支線	路面洗掘100m	(八幡) 路面補修完了

⑤遊歩道・登山道 【事業費：0 千円】

危険箇所や損傷が激しい箇所から、随時修繕・改修します。

施設名	被害状況	備考
冠着登山道久露滝ルート	倒木、土砂流出、木橋流出3基	(羽尾) L=350m 倒木対応中
三滝遊歩道	土留破損、崩落、木橋	(倉科) L=150m 復旧工事検討中
霊諍山遊歩道	土留破損	(郡) L=50m 復旧工事検討中

⑥農業用施設 【事業費：2,084,710 千円】

頭首工の仮取水、排水機場の仮設ポンプの設置は、令和2年3月までに完了を予定しています。なお、本復旧は関係機関と構造等の協議を進めていますので、令和3年3月末に完了予定です。

畦畔崩落・崩壊、農道、水路の復旧は令和2年5月末を目指します。

農地排土（堆積土砂の撤去等）については、県内で災害復旧事業が多く発生しているため、資機材・人員の確保が困難な状況ですが、令和2年5月末の完了を目指します。

施設名	被害状況	備考
羽尾浄化センター	原水ポンプ槽水没	修繕済
田	畦畔崩落 10カ所	復旧工事準備中
畑	畦畔崩壊 3カ所 土砂堆積 12カ所 62.5ha	力石 19.2ha、中 19.9ha、 八幡 2.6ha、屋代 3.3ha、 千本柳 4.3ha、女沢 1.4ha、 雨宮 3.4ha、栗佐 3.8ha、 杭瀬下 1.5ha、若宮 3.1ha 内 49.1ha 復旧工事準備中 13.4ha 復旧完了（自主含む）
農道	法面浸食・土砂堆積 11カ所	(八幡、力石 他) 復旧工事準備中 (屋代) 土砂撤去済
農業用水路	浸食・土砂堆積 5カ所	(力石 他) 復旧工事準備中
排水機場	被害 1件	五十里川機場 仮復旧完了 本復旧工事準備中
頭首工	被害 2件	(若宮、郡) 仮復旧完了 復旧工事準備中 ※関連施設 (埴生、六ヶ郷) 仮復旧完了 本復旧工事準備中
揚水機場	浸水被害 4件	(横沢、西沖、巾田、稻荷山) 復旧工事準備中
農業用建物（その他）	被害 13件 被害金額 10,518,000円	
温室（ガラス張・園芸関係）	被害 4件 1,586㎡ 被害金額 6,433,000円	
プラスチックハウス （園芸関係）	被害 130件 27,602㎡ 被害金額 34,509,000円	
付帯施設・設備（園芸関係）	被害 5件 被害金額 6,723,000円	

⑦市営住宅 【事業費：1,000 千円】

被災箇所は、令和2年2月25日までに修繕を完了しました。

施設名	被害状況	備考
鋳物師屋団地	床下浸水 団地20戸、集会所1戸	修繕済

⑧子育て支援施設 【事業費：274,664 千円】

更埴子育て支援センターは応急工事を完了しました。

本復旧工事は6月中の完了を目指し、それまでの間、ことぶきアリーナ千曲柔道場にて出張子育て支援センターを開設します。

雨宮保育園については、現在あんず保育園で保育を行っていますが、統合保育園の開園を令和4年4月に予定していることから、統合保育園開園までの間は仮設園舎での保育とし、仮設園舎の建設を進めます。

杭瀬下保育園については、屋代保育園と稲荷山保育園に分かれての保育となっています。

園舎の応急工事は完了しましたが、耐震性が欠けていることから、仮設園舎での保育とし、5月中の仮設園舎建設を目指します。

本園舎については復旧工事とあわせて耐震改修工事を行います。

施設名	被害状況	備考
更埴子育て支援センター	床上浸水	本復旧工事完了までの間、「ことぶきアリーナ千曲柔道場」で出張子育て支援センターを開催中
雨宮保育園	ほぼ水没	10/15から「あんず保育園」で保育中
杭瀬下保育園	床上浸水	10/15から「屋代保育園」と「稲荷山保育園」で保育中

⑨学校 【事業費：1,683 千円】

各小中学校の被害については、12月29日までに復旧を完了しました。

学校名	被害状況	備考
上山田小学校	駐輪場傾き、雨漏り、 テレビアンテナ破損、倒木	処理済
戸倉小学校	屋根損傷、雨漏り	屋根復旧済、雨漏り対応済
屋代小学校	雨漏り	対応済
埴生小学校	雨漏り	対応済
屋代中学校	雨漏り	対応済
埴生中学校	プール機械室浸水	泥撤去 消毒対応済
戸倉上山田中学校	窓ガラス・防球ネット破損	修繕済

⑩文化・観光施設 【事業費：716,888 千円】

被害の大きかった更埴図書館が令和2年1月15日に再開し、現在利用ができない施設は更埴文化会館のみとなりました。

更埴文化会館は令和2年度に復旧工事の着工を目指します。

利用可能な他の施設についても、修繕が必要な箇所が残っているため、関連部署と連携し、早期復旧に努めます。

施設名	被害状況	備考
総合観光会館	倒木	対応済
上山田文化会館	地下室浸水、屋根損傷	利用可 応急対応済
戸倉創造館	雨漏り	利用可 調査中
稲荷山宿・蔵し館	砂壁の一部破損	利用可 令和2年度復旧工事着手予定
更埴図書館	床上浸水、地下機械室水没 浸水図書多数	図書約1,000冊廃棄 エレベーター復旧工事準備中(R2実施) 12/23トイレ・水道復旧 令和2年1月15日再開
更埴文化会館	地階、大ホール、 インナーコリドー浸水	休館 令和2年度復旧工事着手予定

⑪文化財等 【事業費：37,236 千円】

関係部署・所有者と連携し、早期復旧に努めます。

登録有形文化財については、3月中に所有者による修理の着手を見込んでいます。

施設名	被害状況	備考
四十八曲峠古道	看板の倒壊	撤去済
清水の榎	枝折れ	対応済
登録文化財 笹屋ホテル別荘	床下浸水、倒木	補修済
登録文化財 瀧澤家住宅	屋根損傷	所有者が対応済
登録文化財 寿高原食品 4階倉庫	屋根瓦のずれ	補修済
観龍寺	観音堂の茅一部落下	撤去済
重要文化的景観「姨捨の棚田」	選定地内で法面崩落4か所	復旧工事準備中
登録文化財 坂井銘醸	外壁落下	所有者へ対応依頼済
重要文化財 智識寺大御堂	屋根損傷	所有者へ対応依頼済

⑫公園・体育施設等 【事業費：2,029,478千円】

都市公園については、国の査定が完了しましたので、工事着手可能な施設、箇所から順次復旧を進め、関係機関等と連携し早期機能回復に努めます。

体育施設については、令和2年度も大田原マレットパークを無料開放とし、戸倉野外趣味活動センターについても、千曲市に活動拠点を置く小中学校のスポーツ団体について引き続き無料開放します。

施設名	被害状況	備考
城山史跡公園	倒木	撤去済
東部テニスコート	冠水	利用可
更埴中央公園グラウンド	冠水	利用可
大田原マレットパーク	場内の木枝飛散	復旧 冬期閉鎖中
戸倉体育館	アリーナ屋根破損 マレットゴルフ場内倒木 堤防倉庫屋根破損	アリーナ 仮復旧・利用可 マレットゴルフ場 作業終了・利用可 堤防倉庫取り壊し予定
つばさ体育館	ガラス損傷	復旧・利用可
あんずの里スケッチパーク	園内枝折れ	対応済
水と緑と潤いのある公園	枝折れ、配電盤の落下	対応済
智識の杜公園	倒木	対応準備中
沢山川親水公園	冠水	利用可 階段工事準備中
水辺の楽校親水公園	冠水	復旧工事準備中
雨宮緑地全施設	冠水	復旧工事準備中
平和橋緑地全施設	冠水	復旧工事準備中
大西緑地公園全施設	冠水	復旧工事準備中
千曲橋緑地全施設	冠水	復旧工事準備中
萬葉の里スポーツエリア全施設	冠水	復旧工事準備中
戸倉千曲川緑地公園全施設	冠水	復旧工事準備中
千本柳運動場	冠水	復旧に向け測量設計準備中 (工事時期未定)
栗佐桜つづみ	一部擁壁崩落	復旧工事中
戸倉体育館A・Bグラウンド	災害廃棄物仮置場として使用	復旧工事中

⑬温泉施設 【事業費：254千円】

倒木の処理は、11月15日に完了しました。

施設名	被害状況	備考
白鳥園	倒木2本	対応済

⑭福祉関連施設 【事業費：82,409千円】

被害を受けた介護保険事業所、シルバー人材センター等は、概ね営業を再開しました。

被害の大きかった更埴デイサービスセンターは令和2年度中に建物を再建し、令和3年度の早い時期の営業再開を目指します。

施設名	被害状況	備考
更埴地域シルバー人材センター	床上浸水	営業再開 11/13～ 植木剪定枝の平和橋資材置場への搬入再開 3/2～
特別養護老人ホーム フランセーズ悠こうしょく	床上浸水	営業再開 10/20～ デイサービス 10/21～
グループホーム まゆ更科	床上浸水	営業再開 11/20～(1ユニットのみ) 11/29～(全てのユニット)
リハビリデイサービス ココカラ	床上浸水	営業再開 10/21～
社会福祉法人 千曲市社会福祉協議会 チューリップの家	床下浸水	運営開始 10/17～
社会福祉法人廣望会 スタジオCOCO	床上浸水	運営開始 10/16～
NPO法人あたらす あたらす ちくま	床上浸水	運営開始 11/11～
戸倉地域福祉センター	雨漏り、カーポート破損	大きな影響なく営業中
更埴デイサービスセンター	床上浸水	休館 復旧に向けて準備中 (R3年度中の再開を目指す)

⑮その他 【事業費：28,232千円】

戸倉温泉の非住宅建物は、倒壊の恐れがある部分について必要最低限の処置を行いました。残存している家屋についても倒壊の恐れがあるため、令和元年度末までの解体撤去を目指します。

施設名	被害状況	備考
杭瀬下倉庫	床上浸水	書類搬出済 清掃完了
埴生公民館杭瀬下分館	床上浸水	R2.3月中に復旧工事完了予定
志川集会所	床上浸水	畳、絨毯等搬出
山林(個人所有)	法面崩壊(墓地周辺に土砂堆積)	(上山田)復旧工事検討中 大型土嚢10袋、排水管2ヵ所設置済
上山田分室 有線本部	屋根損傷	旧上山田庁舎 応急対応済
須坂区多目的集会所	床上浸水	畳交換済、応急対応調整中
非住宅建物	強風による倒壊	(戸倉温泉)所有者に撤去依頼 必要最低限の処置済

(2) ソフト事業

市では、生活資金の給付や住まいの応急修理に関する支援、税金・利用料の減免など、市民の皆様へ安定した生活、安心した日常を一日も早く取り戻していただくための支援を行ってきました。

今後も市民の皆様へ寄り添った支援を継続してまいります。

●住まいと暮らしの再建

(別途記載がない場合、申請等の数は令和2年3月1日現在の状況です)

①罹災証明書、罹災届出証明書の申請・発行状況【税務課・危機管理防災課】

罹災証明書（住家対象）、罹災届出証明書（住家以外対象）の申請については、10月15日から受付を開始しています。

a) 罹災証明書 (2月14日現在)

申請件数	1,003 件
発行件数	896 件

b) 発行件数の内訳 (世帯) (2月14日現在)

区分	全壊 (風害)	大規模 半壊 (床下)	半壊 (床上)	一部損壊			左記以外	
				床上	床下	風害	床上	床下
住家	1	3	341	71	426	54	10	771

c) 罹災届出証明書

申請件数	1,035 件
発行件数	1,032 件

②住まい・暮らしへの支援

a) 借上型応急仮設住宅の提供【建設課】

被災者の生活再建のため、長野県が民間賃貸住宅を借上げ、提供しています。(入居可能期間は2年間)

実績	14 世帯
----	-------

b) 住宅の応急修理【建設課】

被災した住宅の居室、台所、トイレ等の日常生活に必要な最小限度の部分を応急的に修理しています。(市が業者に依頼し実施します)

ア) 全壊・大規模半壊・半壊住宅：上限 595,000 円（1世帯あたり）

申込件数	182 世帯
契約件数	121 件
修理費（契約額）	62,000,202 円

イ) 一部損壊（準半壊）：上限 300,000 円（1世帯）

申込件数	8 世帯
契約件数	5 件
修理費（契約額）	1,226,095 円

c) 被災家屋等の公費解体・撤去【廃棄物対策課】

全壊・大規模半壊・半壊した建築物を解体したい場合、所有者の申請により、市が代わって解体・撤去します。

申請件数	11 棟	【内訳：公費解体 8 棟 自費解体償還 3 棟】
実施件数	0 棟	

d) 市内温泉施設入浴無料券配布【生活安全課】

ア) 被災された世帯などに入浴無料券を配布しました。

(期間 1：令和元年 10 月 17 日～令和元年 12 月 31 日 終了しました)

対象施設	利用実績
白鳥園	13,293 人
多世代健康交流プラザつるの湯	1,364 人
千曲市健康プラザ	245 人
佐野川温泉竹林の湯	2,124 人

イ) 被災によって、お風呂が使用できない世帯を対象に、入浴無料券を配布しています。

(期間 2：令和 2 年 1 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

対象施設	利用実績
白鳥園	994 人
多世代健康交流プラザつるの湯	243 人
千曲市健康プラザ	20 人
佐野川温泉竹林の湯	264 人

③生活資金に関する支援

a) 信州被災者生活再建支援金【福祉課】

国の被災者再建支援制度（全壊・大規模半壊）の対象とならない半壊世帯に給付しています。（最大 500,000 円）

世帯別	被害区分	支給世帯数	支給総額
複数世帯	半壊世帯	274 世帯	137,000,000 円
単数世帯	半壊世帯	61 世帯	22,875,000 円

b) 災害見舞金【福祉課】

住家が床上・床下浸水の被害、及び風害を受けた世帯に支給しています。ただし、半壊以上で信州被災者生活再建支援制度の対象となる場合などは対象となりません。

（支給金額）

	支給対象となる被害の程度	県見舞金	県制度の市見舞金	千曲市の追加加算金	合計
住家被害	床上浸水 (半壊に至らないもの)	1 世帯 5 万円	一部損壊 (準半壊) 1 世帯 5 万円	1 世帯 15 万円	25 万円
			一部損壊 (10%未満) 1 世帯 5 万円	1 世帯 5 万円	15 万円
	床下浸水 風害	—	—	1 世帯 2 万円	2 万円

（支給実績）

世帯数	71 世帯
支給総額	11,400,000 円

（※床上浸水分です）

c) 災害義援金の募集、配分

ア) 募集について【会計課】

災害義援金は 10 月 23 日から受付を開始しています。

区分	受付額
千曲市災害義援金	47,316,666 円
長野県からの配分額 (12/13 付 第 1 次配分金額)	40,260,000 円
長野県からの配分額 (2/14 付 第 2 次配分金額)	109,786,000 円
合計	197,362,666 円

イ) 配分について【高齢福祉課】

配分については、配分委員会の決定に基づいて被災者へ配分します。

【第1次配分】

1月14日に第1回千曲市災害義援金配分委員会を開催し、配分額を決定しました。(いずれも1世帯あたりの配分額)

被害区分	千曲市災害義援金	長野県からの配分額	合計
全壊	180,000円	240,000円	420,000円
大規模半壊	135,000円	180,000円	315,000円
半壊	90,000円	120,000円	210,000円
一部損壊・床上浸水	18,000円	24,000円	42,000円

第1次配分額	76,041,000円
--------	-------------

※千曲市義援金・長野県義援金合算

第1回振込：2月19日

※以降順次

【第2次配分】

3月10日に第2回千曲市災害義援金配分委員会を開催し、配分額を決定しました。(いずれも1世帯あたりの配分額)

被害区分	千曲市災害義援金	長野県からの配分額	合計
一部損壊・床下浸水	10,000円	—	10,000円

④減免等による支援

a) 市税の減免【税務課・債権管理課】

一定の要件を満たす被災者に対し、市税の減免や納税の猶予をしています。

税目	減免件数	減免税額	納税猶予件数
市民税	205件	4,664,680円	1件
固定資産税	322件	3,587,900円	1件
国民健康保険税	101件	5,189,600円	1件

b) 国民健康保険の窓口負担の減免【健康推進課】

一定の要件を満たす被災者に対し、国民健康保険の医療費窓口負担について、減免や支払いの猶予をしています。

窓口負担減免件数	窓口負担減免額	支払い猶予件数
438件	2,983,245円	0件

c) 後期高齢者医療保険料の減免【健康推進課】

一定の要件を満たす被災者に対し、後期高齢者医療制度の保険料及び窓口負担について減免や支払いの猶予をしています。

保険料減免件数	減免保険料額	窓口負担減免件数	支払い猶予件数
139 件	3,982,300 円	51 件	0 件

d) 介護保険料（第1号被保険者）・介護サービス利用料の減免【高齢福祉課】

一定の要件を満たす被災者に対し、介護保険料の軽減や介護利用料の減免をしています。

ア) 介護保険料

	軽減実人数	軽減総額
介護保険料	221 人	3,408,355 円

イ) 介護サービス利用料

	減免実人数	減免総額
介護サービス利用料	35 人	2,063,141 円
総合事業 介護予防・生活支援サービス利用料	10 人	67,195 円

e) 国民年金保険料免除・納付猶予【市民課】

一定の要件を満たす被災者（うち国民年金第1号被保険者）で、申請をして承認された場合、保険料を全額免除しています。

申請件数	8 件
承認件数	2 件

f) 各種証明書交付等手数料の免除【市民課・税務課】

罹災（届出）証明書又は農業用被災証明書の交付を受けた方が、被災による手続きに必要とする各種証明書の交付等を受ける際に、手数料を免除しています。

	免除件数	免除額
住民票等証明書	826 件	252,150 円
印鑑登録証等再交付	23 件	10,300 円
税務関係証明書	95 件	28,500 円

g) 一般旅券手数料の免除【市民課】

被災により、一般旅券を紛失又は損傷したことにより、県内において新たに発給申請をする場合の交付手数料（長野県分）を免除します。

申請件数	0 件
------	-----

h) 保育料等の減免【保育課】

一定の要件を満たす被災者に対し、保育所等に通園する園児の保育料、副食費の減免をしています。

	減免件数	減免額
保育料	9件	425,200円
副食費	24件	255,800円

i) 小・中学生の就学援助措置【教育総務課】

災害により、家計が急変して小中学校への就学が困難な児童・生徒を対象に、学用品費、学校給食費等を援助します。

対象者数	金額
小学校	44人 2,106,053円
中学校	28人 1,312,239円

j) 教科書等の無償給与【教育総務課】

災害援助法に基づいて、災害により学用品を失った児童・生徒を対象に教科書や学用品などを支給しました。(実施済み)

申請件数	内訳	金額
小学校	5件 教科書	4,952円
中学校	1件 教科書	323円

k) 県営水道料金の減免、免除申請受付【上下水道課】

市民の利便性を考慮し、県営水道区域（八幡・桑原・稲荷山の一部以外）の浸水等による被災者（住家）に対する水道料金の減免・免除申請を受付し、所管の各水道管理事務所へ回送しています。

上田水道管理事務所分	川中島水道管理事務所分
40件	622件

l) 避難先市営水道料金及び下水道使用料の減免【上下水道課】

被災者の避難先に対し、市営水道料金及び下水道使用料金の減免を実施します。

	市営水道料金		下水道使用料	
	減免件数	減免総額	減免件数	減免総額
公営住宅等	0件	0円	1件	2,563円
民間アパート等	2件	9,369円	10件	17,946円
受け入れ同居	0件	0円	9件	11,679円

m) 被災住家等の市営水道料金の減免、納付相談【上下水道課】

浸水等による被災者（住家や事業所等）に対し、市営水道料金及び下水道使用料の減免及び納付相談を実施しています。

(減免)

	市営水道料金		下水道使用料	
	減免件数	減免総額	減免件数	減免総額
住家（床上浸水）	14 件	95,899 円	363 件	1,949,479 円
住家（床下浸水）	34 件	36,278 円	291 件	354,482 円
法人又は事業者	2 件	12,845 円	40 件	1,725,239 円

(納付相談)

	市営水道料金	下水道使用料
納付相談件数	0 件	0 件

n) 市営水道の給水装置工事にかかる手数料の減免【上下水道課】

市営水道区域（八幡・桑原・稲荷山の一部）において、被災者の住家及び事業所等の再建に対し、給水装置工事にかかる手数料を減免します。

減免件数	減免総額
0 件	0 円

⑤各種相談

a) 健康相談（心身のケア）【健康推進課】

ア) 健康相談

被災したことに伴うストレスからくる心身の不調など、体調や気分がすぐれない方の健康相談を実施しています。

相談延べ件数	295 件
（再掲）妊婦・乳幼児	42 件
（再掲）高齢者	86 件
（再掲）その他	167 件

相談内容	
状況把握を含む相談実人員	258 人
（再掲）消毒に関する相談	5 件
（再掲）精神面に関する相談	86 件
（再掲）身体面に関する相談	44 件

イ) 総合相談会

弁護士や精神科医、その他専門家が様々な悩み、事情をお聞きする総合相談会を実施します。

実施回数	1回
相談人数	2人

b) 被災後の園児の心のケア【保育課】

市保健師が、被災した園児のいる保育園を巡回訪問し、様子を観察する中で、ストレス症状の早期発見等に努め、適切な対応を行います。

また、保育士が日々の生活の中で、子どもの変化に注意し、変化等に気付いた場合は保健師へつなげていきます。

訪問園	訪問日
屋代保育園	令和元年12月25日
稲荷山保育園	令和元年12月26日
あんず保育園	日程調整中

c) 家庭児童相談【こども未来課】

相談窓口（こども未来課、更埴子育て支援センター・上山田子育て支援センター含む）において、被災された子育て世帯の相談に応じ、相談内容に対応した活用可能な福祉サービスの情報提供や、専門の相談機関の紹介など、必要な支援につなげていきます。

相談件数	40件
------	-----

d) 住宅相談【建設課】

被災による建築・住宅に関する専門家による総合相談を実施します。

開催日	相談者数
2月27日	0人

●被災企業等への事業継続に向けた支援【産業振興課】

①千曲市被災小規模事業者事業継続奨励金

被災した市内の小規模事業者の経営再建を後押しするため、国の「被災小規模事業者再建事業（持続化補助金）」を受けた際に生じる事業者負担分に対し、一部を市独自で奨励金として支援します。

（支援率）補助対象経費の事業者負担の1/4以内

（上限額）250,000円

交付件数	7件
------	----

②災害関連の制度融資

被災事業者の方を対象に資金繰りを支援します。

あっせん件数	18件
--------	-----

●農業者への営農継続に向けた支援【農林課】

①農業用被災証明書申請・発行状況

農作物・耕作地・ビニールハウス等の被害に対する農業用被災証明書の申請は10月23日から受付を開始し、随時証明書を発行しています。

申請件数	218件
発行件数	218件

②農業被害相談窓口の開設

被災された農業者が営農継続・再開に向けた支援等を活用するための相談窓口を開設しています。

相談件数	184件
------	------

③営農継続・再開に向けた支援

a) 助成金による支援

被災された農業者が営農継続・再開するため、助成金を交付し支援します。

〈助成金のメニュー〉

A：強い農業・担い手づくり総合支援交付金（被災農業者支援型）

B：持続的生産強化対策事業助成金（産地緊急支援対策）

C：農作物等災害緊急対策事業補助金

注) 補助率等は、支援内容によって違いがあります。

要望調査					
A	事業者数	124件	事業費	261,429,472円	うち国庫補助額
	要望件数	471件	補助金要望額	192,608,000円	103,208,000円
B	事業者数	11件	事業費	3,906,909円	うち国庫補助額
	要望件数	12件	補助金要望額	2,380,953円	2,380,953円
C	事業者数	20件	事業費	17,661,336円	
	要望件数	26件	補助金要望額	8,830,668円	

b) 土砂の撤去

市が指定するエリア内の農地について、土地所有者の意向を聞きながら土砂の撤去を行います。

(農地・農業用施設災害復旧事業補助金)

	自主復旧件数	市主体工事件数	全体件数
提出済件数	67 件	287 件	354 件
説明会実施件数	—	—	393 件
対象件数	—	—	393 件

注) 土砂堆積 5 cm 以上で、国の災害査定認定を受けたエリアの農地が対象です。

〈説明会実施日〉

地区	実施日	対象者数
雨宮・須坂・女沢	1 月 7 日	85 人
中	1 月 21 日	87 人
力石	1 月 23 日・28 日	147 人
屋代	1 月 27 日	74 人

c) 果実出荷の助成

被災された果樹農家が、加工用または等級落ちした果実をながの農協に出荷する際に助成を行います。(市内のほ場で栽培し被害を受けた果実)

※補助申請は、ながの農協が取りまとめて行います。

〈助成の対象〉

A：風落果実の加工用に出荷した助成

$10 \text{ 円/kg} \times \text{出荷重量 (kg)} \times \text{補助率 } 1/2$

(10 円/kgは、ながの農協の補助対象単価)

B：強風で擦過痕等が生じ等級落ちした果実の出荷用オープン段ボール

$95 \text{ 円/箱} \times 100/110 \times \text{出荷箱数} \times \text{補助率 } 1/2$

(95 円/kgは、ながの農協の補助対象単価)

助成の種類	対象者数	助成金額
A	60 人	54,280 円
B	64 人	152,317 円

●旅館業者等への風評被害を払拭し、観光需要の早期回復・喚起に向けた支援

【観光交流課】

①宿泊者数の回復を支援

市内宿泊施設の宿泊者数を回復させるために旅館ホテルに補助をします。

補助対象件数	4,000 件
申請件数	401 件
実績件数	179 件

②風評被害に対する対応

風評被害を払拭するために YouTube を活用した情報発信をします。

情報掲載件数	0 件
アクセス件数	0 件

●防災対策・教育の推進

①千曲市防災ガイドブックの改訂【危機管理防災課】

令和 2 年度に改定を行い、全世帯に配布します。

洪水については、これまでの 100 年に 1 度の大雨（2 日間で連続 186 mm）が降り、千曲川及び一部の一級河川が氾濫した場合の想定から、想定最大規模降雨（1,000 年に 1 度程度）の大雨が降った場合の想定に変更します。

また、避難所の見直しや外国人に配慮した表記を行い、実用性の高いものにします。

②その他

その他については、千曲市復興計画策定委員会でしっかりと検討した上で推進していきます。【総合政策課】

5. 今後の復興に向けて

(1) 復興計画の策定について

①段階的な復興

今回の台風災害による被害は過去に例を見ないほど甚大であったことから、規模的にもすべての事業を短期間のうちに行うことは困難と言えます。

まずは市民生活の安定と施設等の原状回復が急務であり、それに対する施策は本復旧計画にも記載し、着実に実行していきます。

次の段階として、日々の生活に「安全」と「安心」が得られることにより、精神的な安定が図られ、活気や元気を取り戻すことができはじめて、復興したと言えることから、中長期的な視点で、より災害に強い安全で安心なまちづくりを進めていくことが必要となります。

②千曲市復興計画の策定

災害に強い安全で安心なまちづくりの指針として「復興計画」を策定します。

この「復興計画」は、市民をはじめ幅広い意見の集約、議会との連携を図りながら策定するとともに、策定後は、市民と行政が一丸となって復興に進むための計画とします。

a) 現在実施中の策定準備

- ・市民との意見交換会等
- ・市民アンケート（集計・分析中）
- ・信濃川水系緊急治水対策プロジェクトへの参画

b) 今後の予定

- ・有識者や公募委員等からなる「千曲市復興計画策定委員会」を設置
- ・復興計画（案）の市民説明会開催、及びパブリックコメントの実施

c) その他

- ・復興計画とは別に、台風通過時の千曲川の水流シミュレーションを実施

③策定完了の目標

令和2年8月末